

見ごろの植物 屋外

2009年7月23日号 次号予定:8月1日

植物園フェスタ開催中です
葉脈の標本しおりを作ってみよう



環境省レッドデータ カテゴリー

★	[CR]	絶滅危惧IA類
✪	[EN]	絶滅危惧IB類
✪	[VU]	絶滅危惧II類
✪	[NT]	準絶滅危惧

★ 花
✪ 実やタネ
✪ その他

今週のベスト3!

--- 園内に番号札があります(ベスト3のみ) ---

1. 山地草原をいろいろ **コオニユリ**: 明るいオレンジ色の花が下向きに咲いています。ユリ科
2. **カワラサイコ**: 砂地一面をおおうように咲いた黄色い花が見ごろです。バラ科
3. 独特の芳香 **ハマゴウ**: 紫色の花を茎の先に咲かせ始めました。茎を伸ばして大きく育った株も見ごたえがあります。マツツバ科

植物園フェスタ2009

★ 7/24 - 7/29

葉脈の標本しおりを作ろう

★ 7/30・7/31

植物の押し葉しおりを作ろう

★ 8/1・8/2

葉っぱでお面を作ろう

ウォークラリーや講座もあります



5. **キキョウ**: 秋の七草のひとつですが、夏の早い頃から開花します。キョウ科

6. **マツカゼソウ**: 山地に生える多年草。名前も姿も涼しそうな印象です。ミカソ科

7. **ゴルドニア・ラシアンタス**: 純白の花が夏の空に映えています。ツバキ科

8. **パイナップルリリー**: 属名エウコムス。2種が名前どりの花を咲かせてみなさんをお迎えします。ユリ科

9. **ヤタイヤシ**: 南米の暖かい地方原産ですが、ここつくばの屋外でも育つ、寒さに強いヤシです。ヤシ科

10. **ススカケソウ**[CR]: 江戸時代からの園芸植物ですが、自生地がわからなかった謎の植物。現在、紀伊半島と徳島県の各1箇所の自生地だけが知られています。ゴマノハサ科

※見ごろ期間の短い植物もあります。ご了承ください



じゅもーく先生トビックス

4. フウラン

Neofinetia falcata

教育棟でも
見られます

東アジアの温暖な土地の木に着生するラン科植物です。チューブ状に変形した花びらの一部(距と呼ばれる)に蜜を溜めます。ヤガの仲間が蜜を求めて口吻を距に差し込むと頭に花粉が付き、次の花で吸蜜するときに受粉します。ガの口吻の長さにあわせて蜜を溜める距が進化し、受粉を確実なものにしたと推定されます。花色が夜でも目立つ白であること、夜だけ芳香を放つことも、夜行性のガの行動にあわせてフウランの花が進化したことを裏付けます。

[筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 遊川]
〈大きなクスノキの幹についています〉

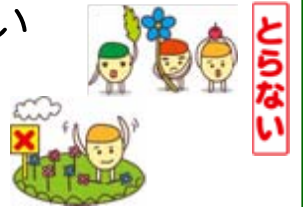
植物園からのおねがい

園内の植物はすべて研究対象です!

生きている植物、落ちて実・葉・枝などを
とることはできません。

園路・ロープ・柵から中に入るのは
できません。

はいらない



筑波実験植物園は植物の多様性を知り、守り、伝えます。

見ごろの植物 温室

2009年7月23日号 次号予定:8月1日

今週のベスト3!

--- 温室内に番号札があります(ベスト3のみ) ---

1. チョコレートの原料 カカオ：木の幹に無数に咲いた白い花（幹生花）と、去年の秋にできた黄色い実が見ごろです。アカリ科

2. インド原産 ツルイランイラン：花の基にあるカギ状の爪で上によじ登ります。黄色く熟した花が甘い香りを発しています。バルイ科

3. オオバナサルスベリ：大ぶりのピンク色の花が樹上に咲いています。熱帯アジア～北オーストラリアに分布。ミナギ科



じゅもーく先生トビックス

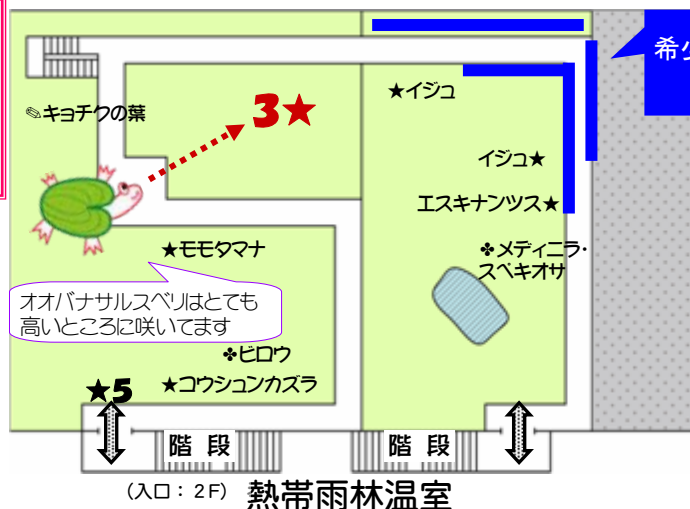
4. コアマモ

Zostera japonica

日本列島周辺の浅海にはアマモの仲間が5種生育していますが、コアマモ以外はとても近縁で、同じ祖先から進化してきたことがDNA解析で明らかになりました。しかし、コアマモだけは違って、最も近縁な種はヨーロッパに分布する*Zostera noltii*ゾステラ・ノルティーという種であることもわかりました。さらに、その2種の祖先は、ユーラシア大陸とアフリカ大陸がまだ分かれていたおよそ1000万年前に、その間の海（テチス海）で祖先が生まれ、大陸がつながって海が分断されて現在の状態になったこともDNA情報から推定されました。噛み砕けば、「兄弟離散、大陸移動が原因か?」といったところです。

[筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 田中]

研修展示館通路にあります



希少な筑波ランコレクションを展示しております

★ 花
✱ 実やタネ
☞ その他

環境省レッドデータ
カテゴリー

危険度
[CR] 絶滅危惧IA類
[EN] 絶滅危惧IB類
[VU] 絶滅危惧II類
[NT] 準絶滅危惧

4. コアマモ：研修展示館通路の水槽にあります。地球上で最も長い花粉を出して、水中で受粉します。アマモ科 (トビックスもご覧ください)

5. ミフクラギ：白い花が咲いています。名は、種子や樹液に猛毒があり皮膚につくと腫れることから。キョウチクトウ科

6. パッションフルーツ：栽培担当の職員がこまめに交配をおこない、どこを見ても実・実・実!の大豊作となりました。クワイ科

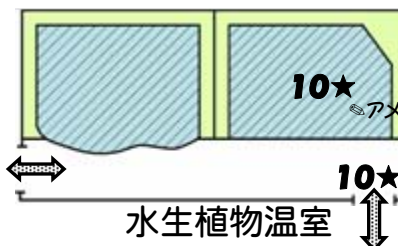
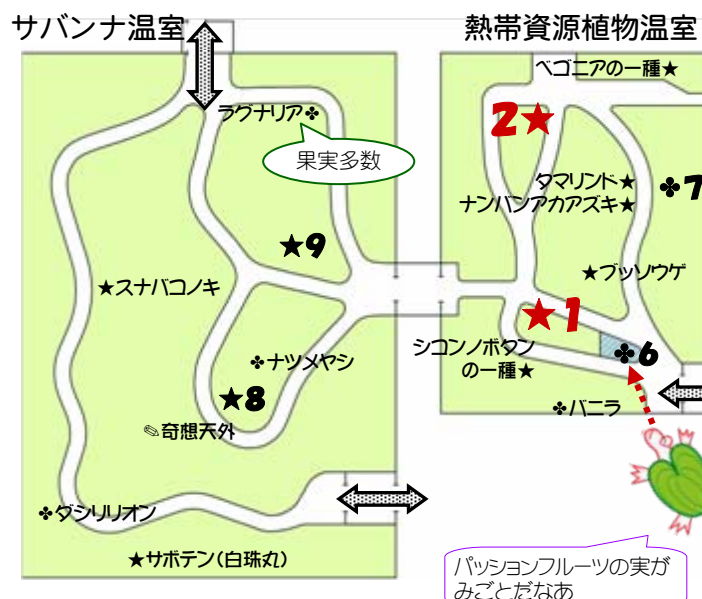
7. パキラ・グラブラ：ごろっとしたラグビーボールのような実が高い木のあちらこちらについています。探してみてください。パキラ科

8. フェルニア・ゼフィラ(赤鬼角)：アフリカ原産の多肉植物。これが花?と思うような独特の色・形・つやをぜひご覧ください。ガガバ科

9. アルビジアの一種：ネムノキのなかま。クリーム色のポンポンのような花がところどころに見え隠れしています。マメ科

10. オヒルギ：代表的なマングローブ植物。つぼみ、花、胎生種子が同時に観察できます。ヒルギ科

※見ごろ期間の短い植物もあります。ご了承ください



参考文献：『牧野新日本植物図鑑』牧野富太郎、『新日本植物誌』大井次三郎、小学館『園芸植物大事典』、平凡社『世界有用植物事典』、Dictionary of Gardening ほか



筑波実験植物園は植物の多様性を知り、守り、伝えます。